



令和6年 能登半島地震



自然災害の脅威から命を守る



令和6年1月1日(月)16時10分、石川県で震度7の揺れを観測する大規模な地震が発生しました。

この地震により、新潟県内でも大きな被害に見舞われ、当支部は発災当初から職員を招集。県庁に派遣するなど被災状況の把握や情報収集を行いました。また、長岡赤十字病院より医師等も県庁に入り、医療体制の調整と支援の必要な医療機関へ看護師等の派遣を行いました。

また、1月7日、日赤新潟県支部救護班が石川県に到着し救護活動を開始。石川県珠洲市の避難所で巡回診療を行い被災者に寄り添った活動を行っています



新潟県の活動



支部で情報の収集(1月1日)



新潟県庁で本部会議に出席する職員(1月2日)



救護班第1班石川県に向け出発(1月7日)

被災地の活動 (石川県珠洲市)



1月8日、被害の大きかった石川県珠洲市に救護班が到着。

活動前、救護班ミーティングを行い活動内容の確認を行います。大雪になり通行止めや渋滞に巻き込まれながら救護活動場所へ向かいます。





令和6年 能登半島地震



広がる支援の輪



1月8日、赤十字防災ボランティアセンターを当支部に開設。救護活動の後方支援や新潟市西区に開設されたボランティアセンターへのボランティアスタッフ派遣を行いました。災害時にはボランティアの皆様を支えられ赤十字の活動は行われています。また、JRC加盟校では、自分たちにできる被災地支援活動を行っています。

ボランティアの活動



1月8日支部に赤十字ボランティアセンター開設



西区ボランティアセンターでの打ち合わせ



泥だしのボランティア活動

被災地への応援(JRC加盟校)



フラッグに被災者応援メッセージを記載



義援金を募るため募金活動を実施

R6年能登半島地震
災害義援金はこちらをご覧ください



いつもあたたかいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

日本赤十字社は公平で中立な活動が求められるため、国や県から補助金を受けることなく、県民の皆様からの活動資金(ご寄付)のみで活動しております。

災害救護活動をはじめとした赤十字の活動は、すべて皆様からのご支援をもとに実施しておりますので、今後とも継続したご支援を何卒よろしくお願いいたします。